沼津市立病院経営強化プラン　第２回評価委員会の開催結果について

１　趣旨

令和６年２月に策定した「沼津市立病院経営強化プラン」（計画期間　令和６年度～令和９年度）では、病院事業の経営強化に資する取組を定めている。

また、令和７年 11 月には「沼津市立病院経営改善実行計画」（計画期間　令和７年度～12 年度）を策定した。過去に例のない厳しい経営状況であっても、地域における基幹的な医療機関として地域医療の確保のため重要な役割を果たしていかなければならない。経営改善実行計画は、新たに設けられた「病院事業債（経営改善推進事業）」を活用し、経営状況の健全化を図ることを目的としている。

経営強化・経営改善の着実な推進を図るため、年１回、委員の点検・評価を受けることとしており、このたび令和７年度の取組みについて各委員から意見を伺った。

２　概要

県外の委員（杉山委員長、岡本委員）には個別リモート会議により、県内の委員（田中委員）には個別訪問により評価を受けた。

（１）評価委員会委員

	氏名	所属	職	実施日
委員長	杉山　聡	東松山市立市民病院	病院事業管理者	令和８年８月３日
委員	岡本　浩嗣	北里大学医学部	麻酔科学主任教授	令和８年７月 29 日
委員	田中　日出和	沼津医師会	会長	令和８年７月 27 日

（２）委員からいただいた主な意見

ア　収益確保に関するもの

・患者数は減少しているものの、患者一人当たりの単価は増加していることから、収益確保のために努力していることがわかる。
・手術枠の見直しは重要である。一日を通じて、午前、午後のどちらかに手術が偏らないことが望ましい。
・インフルエンザワクチンの出張接種は良い取組である。
・紹介率、逆紹介率は高い数値であり、地域の中核病院としての立場を重視していることがわかる。
・開業医は、紹介患者を断わられると、以後は他の医療機関に紹介するようになる。
・救急不応需を減らすと、病床利用率、手術件数が増加し、収益も増加する。

イ　費用削減に関するもの

・外来部門の看護師を医師事務作業補助者や看護補助者に置き換えることで人件費は削減できるが、看護師が減少することで医師から不満が生じるので、十分、考慮すべき。
・職員に病院の経営状況を理解してもらうために、研究研修費を削減することは効果がある。

ウ　全体的な病院運営に関するもの

・厳しい状況で努力していることがわかる。今後もプラン・計画に沿って実施していけばよいと考える。
・研修システム、教育システムを充実させ人材育成に役立てていること、また、ＡＩを電子カルテシステムで活用しようとしていることを評価する。
・医師の労務軽減を図るために、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士などにタスクシフトできている。
・経営形態を地方公営企業法の全部適用にしても、独自の給与体系を構築することは難しい。

３　今後の取組み

評価委員から当院の努力を認められ、今後もプラン・計画に沿って進めていくよう意見をいただいた。引き続き、経営強化プラン及び経営改善実行計画で定めた各項目に取り組んでいく。

４　目標・実績（主なもの）

指標	令和６年度 実績	令和７年度 目標	令和７年度 実績	令和９年度 目標
延入院患者数	88,030 人	104,025 人	84,099 人	78,346 人
入院診療単価	67,962 円	68,900 円	69,304 円	71,856 円
外来患者数	139,585 人	159,720 人	134,273 人	133,468 人
外来診療単価	16,678 円	17,100 円	16,730 円	16,979 円
救急応需率	81.0%	87.5%	83.8%	85.0%
手術件数	3,762 件	4,000 件	3,764 件	4,013 件
紹介率	81.4%	80.0%	79.7%	80.0%
逆紹介率	81.7%	80.0%	78.6%	80.0%